

計測制御分野で最新のシステムを提供する

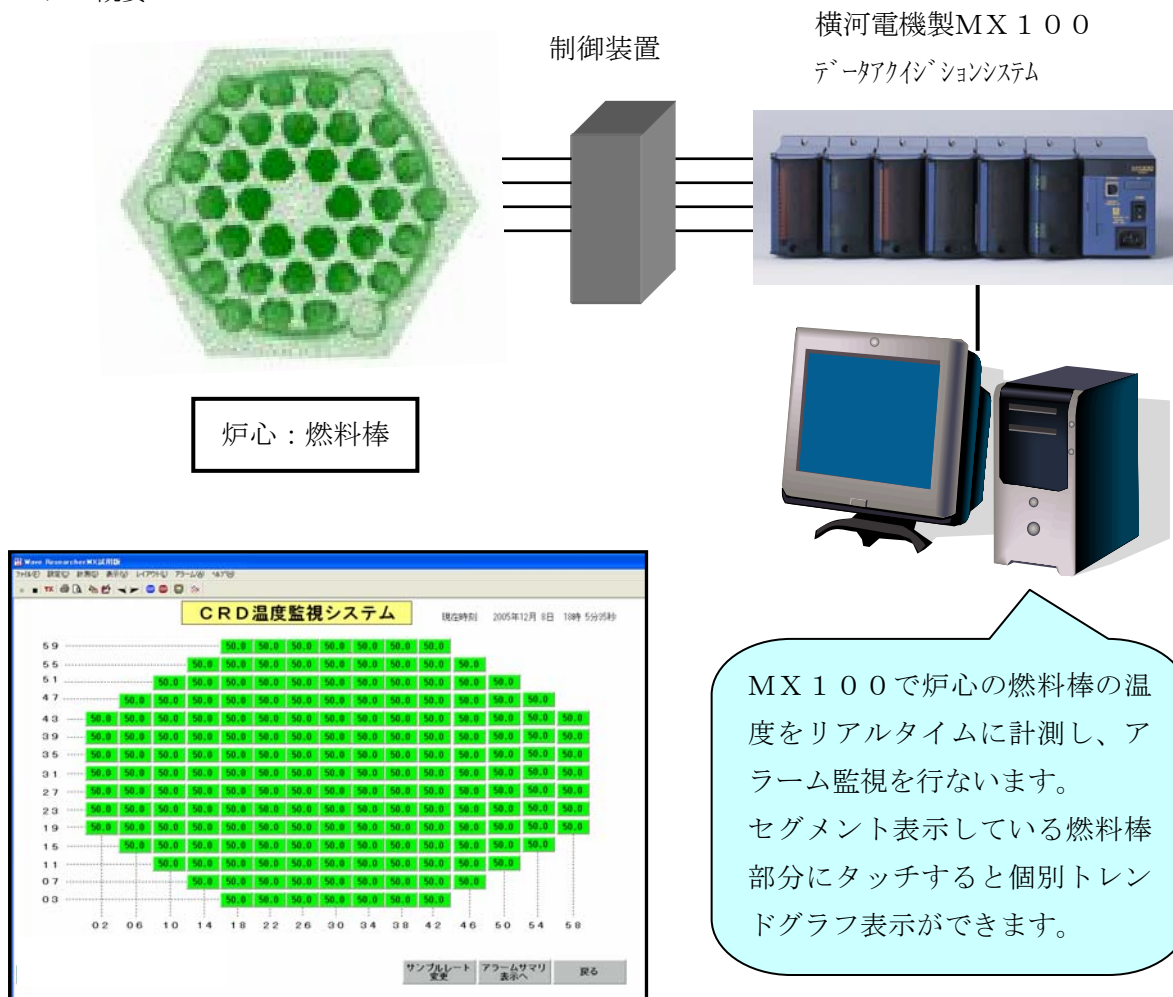
ハビリス納入事例紹介

原子力発電所燃料棒温度監視システム

本システムは、MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料）を採用した原子炉の燃料棒温度を監視している例であり、「ウエーブリサーチャー」のグラフィック画面表示機能を一部機能追加して使用しております。

従来から使用している制御システムを補完する目的で設置されました。

(1)システム概要



「システムの概要」

(1)当システムは、MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料：ウラン238にプルトニウムを4~9%含む）に置き換えた原子力発電所の燃料棒温度を監視する目的で使用されております。

「ウエーブリサーチャー」は発売以来、信頼性の高い横河電機株製のデータアキュイジション機器と組み合わせたシステムは原子力関連の施設で数多く使用されております。

(2)主な処理内容と「ウエーブリサーチャー」の改造点について

①燃料棒ごとの温度データの収集、アラーム監視を行なう。

数百点の温度データを高速に収集できる「MX100」により、燃料棒ごとの温度データを収集し、リアルタイムに温度分布を表示します。温度異常が発生した場合には、その燃料棒セグメント部分を赤表示するとともに、MX100の外部接点を制御してパトライトを点灯させます。

②タッチパネル付きTFTを採用しているので、燃料棒セグメント部分をタッチすれば簡単にその部分の個別トレンドグラフ表示に切り替えられ、使いやすい。

③後処理解析

計測データを再表示し、温度データの解析が可能です。個別の燃料棒ごとにトレンドグラフ上でラインカーソルを移動させ、任意の点の測定値を表示できます。また、「ウエーブリサーチャー」の基本機能にある演算機能を使用して、平均値（MAX、MIN、AVG）を算出することも可能です。

「ウエーブリサーチャー」採用の

メリット：

- ①このように一部の機能追加を行なっても安価で短期間で納入可能。
- ②基礎研究データ収集用から製造設備の監視等、多くの実績があり安心して使用できる。
- ③操作が簡単でマニュアルなしでだれでも使用できる点が好評です。



お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL. <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285